

1 第4節 中間評価の総括

2 前節でみてきたとおり、プラン21（第二次）の総合目標及び領域ごとの分
3 野別目標の指標は、おおむね改善傾向にあります。策定時から変化がない項
4 目や悪化した項目もみられています。

5 各領域の評価を総括すると、以下のとおりになります。

7 【領域1】「主な生活習慣病の発症予防と重症化予防」について

8 領域1は、都民の死亡原因の多くを占める、主な生活習慣病の一次予防
9 と二次予防に重点を置いた領域です。

10 各分野を通じて、指標はおおむね改善傾向にあると言えますが、現状のペ
11 ースでは達成が難しいと推測されるものもあります。

12 領域1に掲げる主な生活習慣病の予防には、医療の進展も大きく影響しま
13 すが、基本となるのは望ましい生活習慣の実践と疾病の早期発見・早期治療
14 です。健康づくりの基本となる生活習慣の改善に関する領域2や社会環境整
15 備などの領域3における取組とも連動しながら、引き続き対策を継続してい
16 く必要があります。

18 【領域2】「生活習慣の改善」について

19 領域2は、都民の健康づくりの基本であり、他の領域の取組にも関連する
20 領域です。

21 分野によっては、世代や性別において指標の達成状況に差があり、特に、
22 青年期・壮年期の「身体活動・運動」や「休養」、女性の「飲酒」等につい
23 ては、悪化傾向となっています。

24 また、生活習慣の改善に対する意識や行動には大きな変化はみられていま
25 せん。

26 都民の健康増進に当たっては、特定の分野のみならず、領域全体の各分野
27 における生活習慣の改善が望まれるため、より一層の取組の充実・強化が必
28 要です。また、「栄養・食生活」や「身体活動・運動」など、個人の生活習
29 慣や行動が大きく影響する分野については、領域3の各分野における取組と
30 連動しながら推進していくことも重要です。

32 【領域3】「ライフステージを通じた健康づくりと健康を支える社会環境の整備」について

33 領域3は、ライフステージと社会環境に着目した領域であり、領域1と領
34 域2を支える位置づけともなります。

35 各分野とも、指標にはおおむね変化はありませんが、「高齢者の健康」に
36 ついては、地域の活動団体の数が高齢者人口の増加に対して十分な状況とは
37 言えず、また、社会活動や地域活動への参加も進んでいるとは言えません。
38 地域のつながりの基盤となる、地域活動の場の一層の整備と社会参加の促進

1 が必要です。

2 少子高齢化の進展や高齢単独世帯の増加、雇用形態の多様化などの社会状
3 況の変化や地域の実情などを踏まえながら、都民一人ひとりが生涯を通じて
4 途切れることなく健康づくりに取り組むことができるよう、社会環境整備を
5 進めていくことが重要です。

6

7